

品 番

DCL-40894Y・DCL-40894A・DCL-40894W

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

- ご使用前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)



警告

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

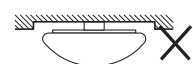


注意

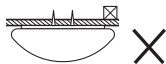
この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

警告

この器具は天井取付専用(アダプタ取付式)です。指定場所以外には取付けしないでください。火災・落下の原因となります。



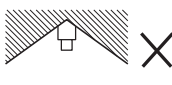
突出部のある天井
凹凸のある天井
掘込天井



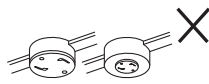
取付強度不足の天井
補強のない場所
(ベニヤ板や石膏ボード等)



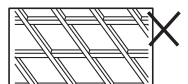
傾斜した場所



船底天井



ケースウェイに
取付いているもの



サオブリ・格子天井

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



水ぬれ禁止

この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

周囲温度 $-5\sim 35^{\circ}\text{C}$ 以外では使用しないでください。火災の原因となります。

器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災・感電・落下の原因となります。



分解禁止

器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下等の原因となります。

調光器との併用はできません。火災の原因となります。調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換が必要です。



厳守

煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

注意

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

●照明器具には寿命があります。

設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度 30°C 、1日5.5時間点灯、年間2000時間点灯。

※点検は、本説明書に従って行ってください。

周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

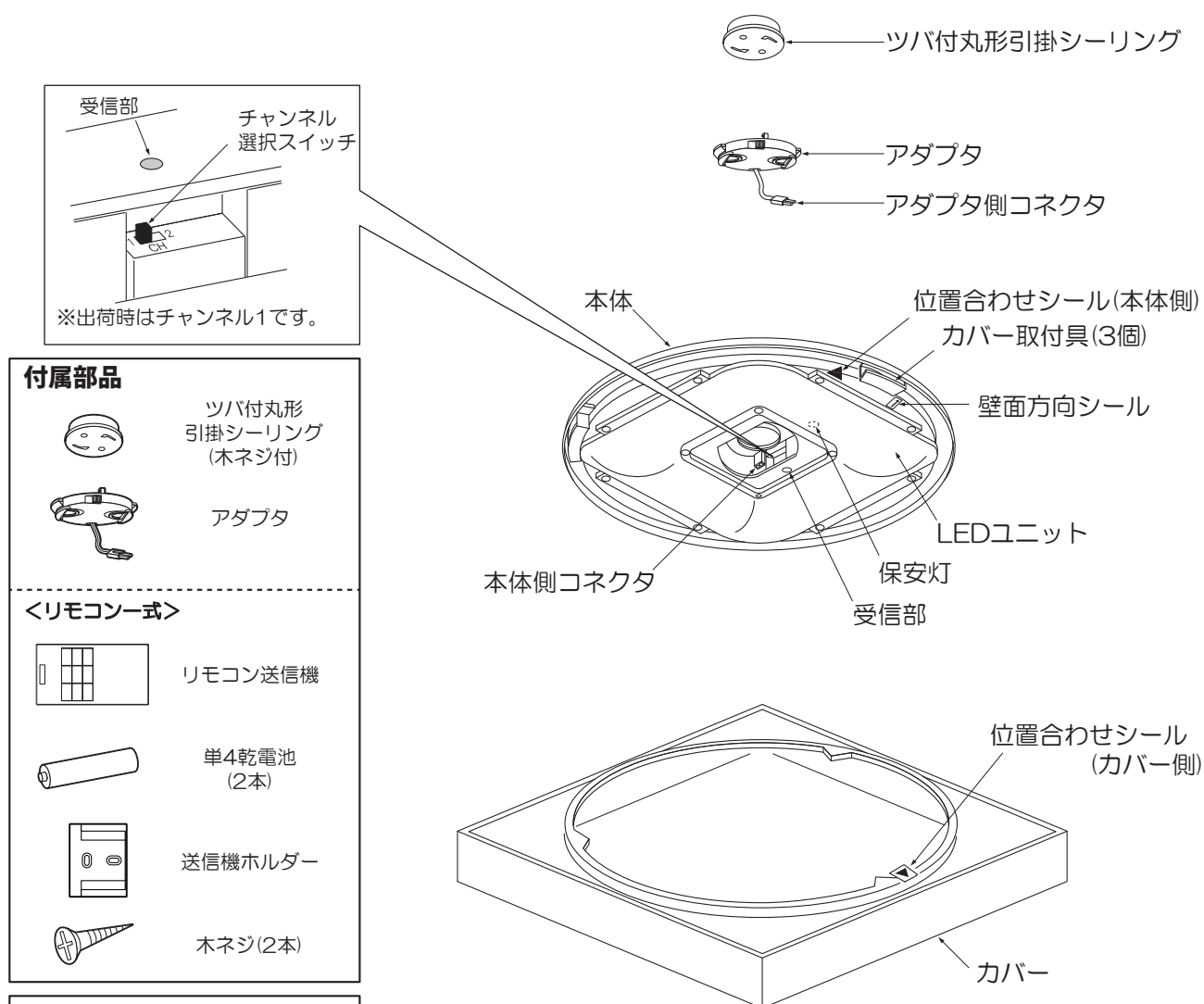
仕様

- 屋内専用
- 天井取付専用(アダプタ取付式)
- プルレス調光機能付
- LEDユニットは交換不可

品番	DCL-40894Y	DCL-40894A	DCL-40894W
定格電圧	交流 100V		
周波数	50/60Hz兼用		
消費電力 ※待機時 1W以下を要します。	37W		
入力電流	0.38A		
LEDユニット	演色性 Ra83 電球色(2700K)	演色性 Ra83 温白色(3500K)	演色性 Ra83 昼白色(5000K)
	LED光源寿命：40,000時間		
保安灯	LED 2W 電球色		
器具重量	約2.1kg		
電源接続	配線器具(引掛シーリング・引掛ローゼット)		

各部の名称

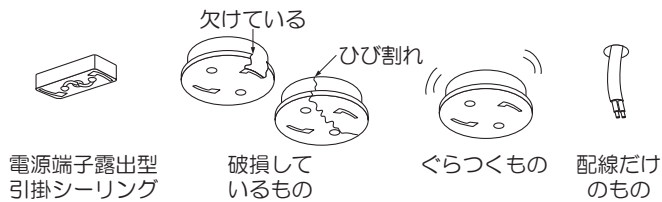
※下図は、簡略した図です。



施工説明

① 取付け前の注意事項について

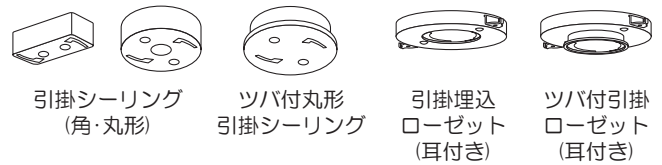
●使用できないもの(配線器具)



⚠ 警告

上記のような配線器具には、器具を取付けないでください。火災・感電・落下の原因となります。配線器具の交換・取付けは資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

●使用できるもの(配線器具)



⚠ 警告

配線器具は十分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。火災・感電・落下の原因となります。

② 受信部のチャンネル選択スイッチを確認する

●照明器具2台を別々にリモコン操作したい場合は、右表のようにスイッチを合わせてください。

※受信部とリモコンのチャンネルが違っていると操作ができません。(出荷時の設定は、受信部とリモコンのチャンネルは1です。)

※詳細はリモコンの「取扱説明書」をご覧ください。

選択 スイッチ	1台目	2台目
受信部側	1CH	2CH
リモコン側	1CH	2CH

③ 傾斜天井(水平から45° まで)に取付ける場合

●必ず別売の簡易取付金具(DP-35345・DX-85736)を使用してください。

※引掛埋込ローゼット、ツバ付引掛ローゼットには取付けできません。

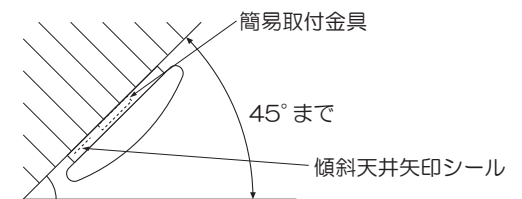
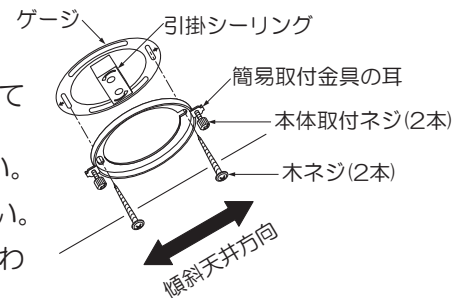
●引掛シーリングに、簡易取付金具に付属のゲージを合わせ、天井面に貼り付けてください。

●簡易取付金具に付属の本体取付ネジ(2本)を簡易取付金具に仮止めしてください。

※本体取付ネジは2種類あります。詳細は簡易取付金具の「注意書」をご覧ください。

●簡易取付金具の耳を傾斜天井に対して縦方向にし、簡易取付金具をゲージに合わせて、木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付けてください。

●傾斜天井矢印シールが、傾斜天井の下側になるように取付けてください。



⚠ 警告

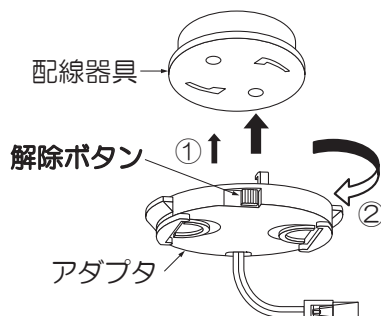
この器具は簡易取付金具なしでは、傾斜天井への取付けはできません。傾斜天井(水平から45° まで)へ取付けの際は、上記条件を守ってください。指定以外の取付けは、落下によるけがの原因となります。

④ アダプタを取付ける(作業前、必ず電源を切る)

①②アダプタを配線器具に差し込み、カチッと音がするまで右に回して取付けてください。

<アダプタを取外す場合>

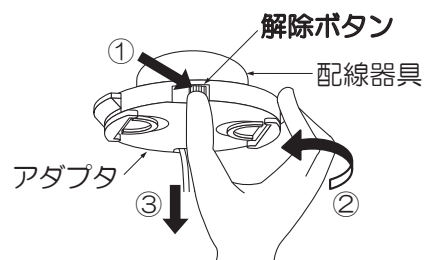
①②③アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回して取外してください。



⚠ 警告



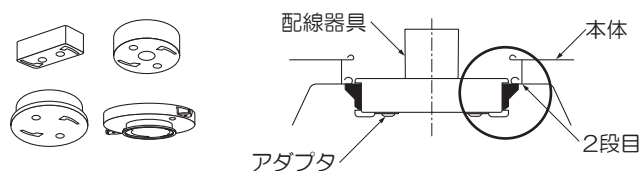
取付後、解除ボタンを押さずに左右に力を加え、動かないことを確認してください。取付けが不十分な場合、落下・不点の原因となります。



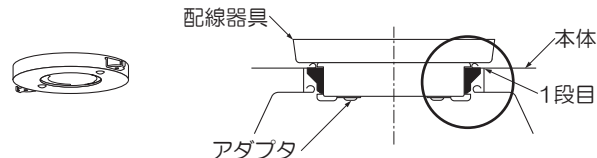
⑤ 本体を取付ける(取付け前、必ず本体表示を確認する)

- 配線器具(高さ)の種類により取付けが異なります。下記の内容に従い、取付けを行ってください。
- 本体のセンター穴をアダプタに合わせ、天井に密着するまで確実に押し上げ固定してください。

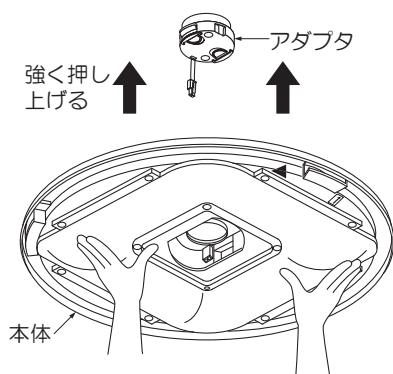
<配線器具(高さ約22mm)取付け> 2段目まで押し上げてください。



<配線器具(高さ約11mm)取付け> 1段目まで押し上げてください。



※アダプタの解除レバーの赤色が見えている場合は、本体センター穴付近を再度押し上げてください。



⚠ 警告

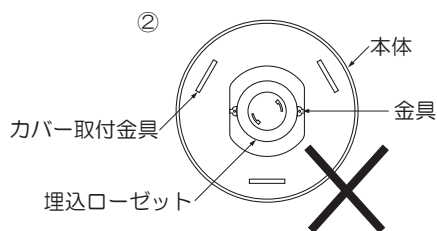
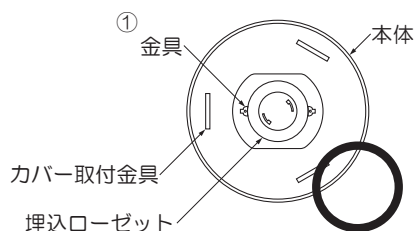


厳守

本体がガタガタするまたは簡単に回転する場合、再度本体を押し上げてください。そのまま使用すると落下の原因となります。

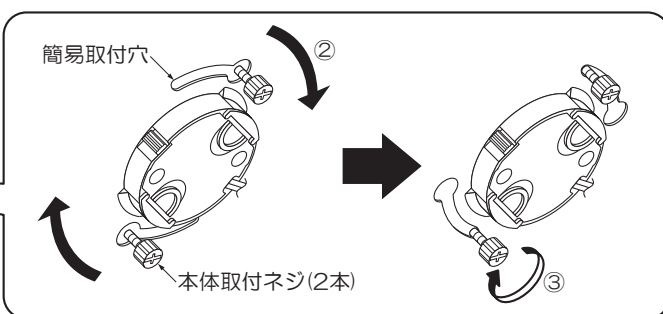
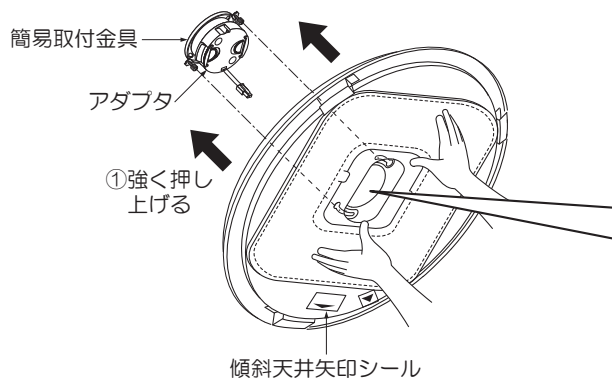
<埋込ローゼットに取付ける場合>

- 配線器具が埋込ローゼットの場合は、本体に方向性がありますので注意してください。必ず①の方向で取付けてください。
- ②の方向で取付けた場合、埋込ローゼットの金具に本体が当たり、傾くおそれがあります。



<傾斜天井に取付ける場合>

- ①傾斜天井矢印シールが傾斜天井の下側になるように、本体の簡易取付穴を簡易取付金具の本体取付ネジ(2本)に合わせてください。天井に密着するまで確実に押し上げてください。
- ②③本体を回転させた後、本体取付ネジ(2本)を確実に締め付け固定してください。



⚠ 警告

指定以外の取付けは、火災・落下の原因となります。

施工説明

<本体を取外す場合>

本体センター穴付近を片手で支えながら、アダプタの解除レバーを中央側につまんで取外してください。

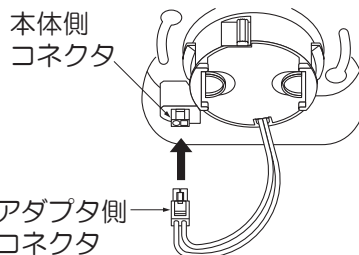


⚠ 警告

本体を支えないで取外すと、本体が落下する原因となります。

⑥ コネクタを接続する(作業前、必ず電源を切る)

- アダプタ側コネクタを本体側コネクタに最後まで確実に差し込んでください。

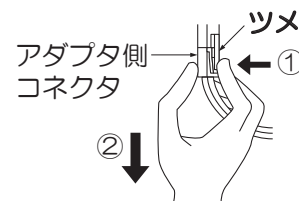


⚠ 警告

コネクタの差し込みが不完全な場合、火災の原因となります。

<コネクタを取外す場合>

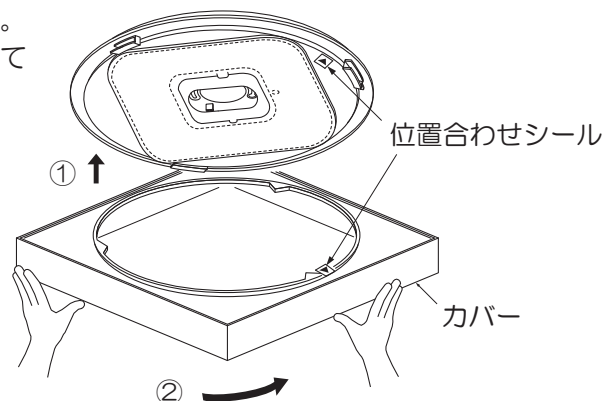
①②アダプタ側コネクタのツメを押さえながら引き抜いてください。



⑦ カバーを取付ける

- ①本体とカバーの位置合わせシールを合わせてはめ込んでください。
- ②カバーが止まるまで右に回してください。カバーが確実に取付いていることを確認してください。

※カバーにひび・割れ・欠け等の異常がないか確認してください。



⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

取扱説明

お客様へ

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

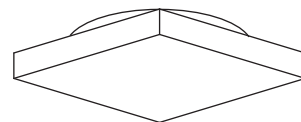
- 点灯の切り替えは、同梱のリモコンまたは壁スイッチで操作してください。

<リモコンで操作する場合>

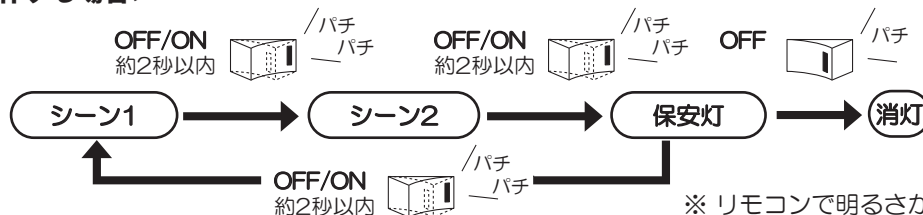
- 光の明るさは、10段階の調節が可能です。

※詳細はリモコンの「取扱説明書」をご覧ください。

※壁スイッチがOFFの場合は、点灯の切り替えはできません。



<壁スイッチで操作する場合>



※ リモコンで明るさが設定できます。

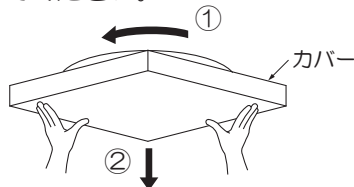
※壁スイッチをOFFにしてから約3秒以上経過した後、再度ONにするとシーン1の状態に戻ります。

カバーの取外し方法

⚠ 警告 必ず電源を切り、器具とLEDが冷めてから取外してください。感電・やけどの原因となります。

1. カバーを取外す

①②カバーを左に回して取外してください。



2. カバーを取付ける

●取付けは4ページの「⑤カバーを取付ける」の項をご参照ください。

ご使用に関して

【留意点】

- 調光範囲は約5%～100%ですが、室温によって多少変化します。また調光状態になるまで数秒かかることがあります。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチがONの状態ですべての電気が止まった場合、停電復帰後、自動的に点灯する場合があります。

【周囲の影響】

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。

- ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。
- リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなる。
- トランシーバやラジオコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。

※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

【ご注意】

- 天井の材質や構造によっては天井面が変色することがあります。
- 点灯時、消灯後には若干のさしき音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。変質・変色の原因となります。

⚠ 警告

LEDを直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1) 点検項目

- LEDが切れていませんか。
- 正常に点灯しますか。
- 天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2) 清掃 (安全のため、電源を切ってから行ってください。)

器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。

- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジン等の揮発性のものは使用しないでください。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

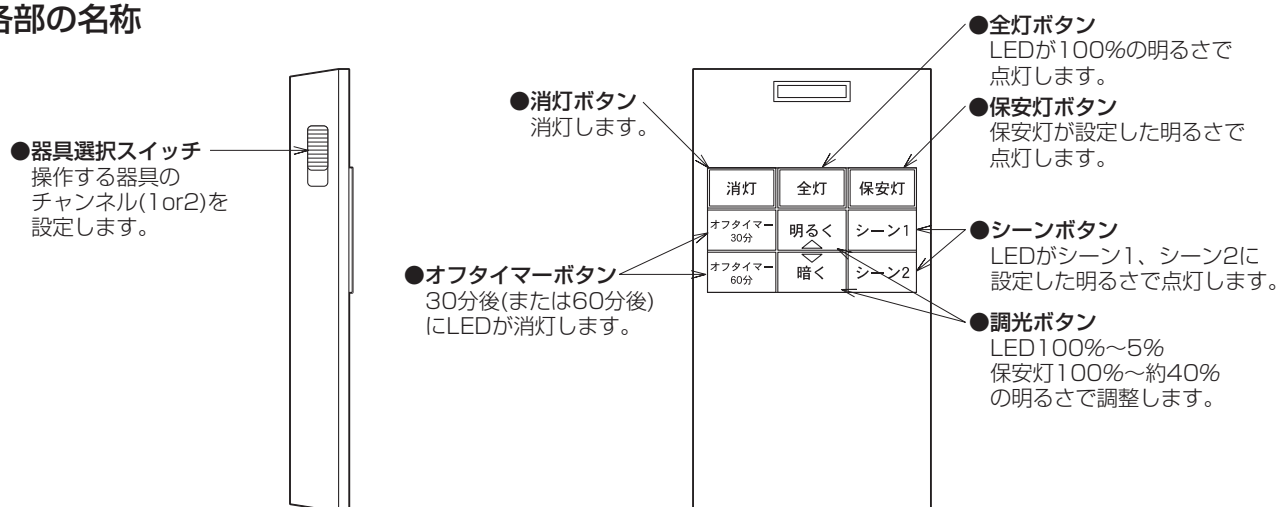
商品についてのご相談は

CSセンター (0570) 003-937 (ナビダイヤル 全国共通) へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。

■ リモコンについて

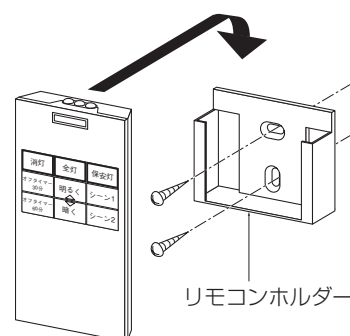
1. 各部の名称



2. 取付方法

- リモコン送信器をなくさないように同梱されているリモコンホルダーは付属の木ネジで確実に固定してください。

※但し、リモコンホルダーにリモコン送信器を入れたまま、壁スイッチ代わりとしてご使用になる場合は、固定する前にその取付位置で照明器具が動作することを必ず確認してからリモコンホルダーを壁面の補強材のある位置に固定してください。



3. リモコン設定

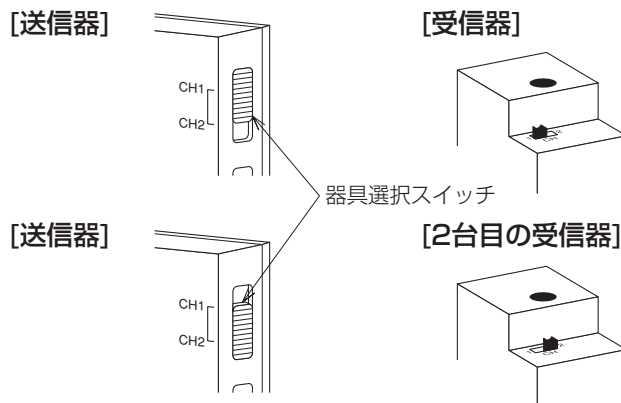
- 器具選択スイッチ…1つの送信器で2台の照明器具を操作する場合
受信器のチャンネルに合わせてスイッチを切り替えることで1つの送信器で2台の照明器具を操作することができます。

〈1台の器具のみ操作する場合〉

送信器の器具選択スイッチと照明器具の受信器のチャンネル設定スイッチが「CH1」に設定されていることを確認してください。

〈2台の器具を操作する場合〉

送信器の器具選択スイッチと2台目の照明器具の受信器のチャンネル設定スイッチを「CH2」に設定してください。



〈注意〉

- ・送信器側と照明器具側のチャンネルが異なる場合は動作しません。
- ・出荷時は送信器、受信器ともにチャンネルは「CH1」になっています。

■ 操 作 方 法

1. 1回の操作でお好みの点灯状態または消灯にする

- リモコン送信器を照明器具へ向け、「全灯」、「保安灯」、「シーン1」、「シーン2」、「消灯」のボタンを押してください。

全灯ボタン : LEDが100%の明るさで点灯します。

保安灯ボタン : 保安灯が設定した明るさで点灯します。

シーンボタン : LEDが、シーン1、シーン2に設定した明るさで点灯します。

消灯ボタン : 消灯します。

2. 明るさを設定する

- 「シーン1」、「シーン2」、「保安灯」で点灯している時に、「明るく」または「暗く」ボタンを押すと、明るさを設定することができます。

シーン1・シーン2 : 100%～約5%

保安灯 : 100%～約40%

- 「明るく」または「暗く」ボタンを押すと“ピ・ピ・ピ…”とブザー音が鳴ります。
但し、明るさが100%で点灯しているときに、「明るく」ボタンを押すとブザーは鳴りません。
明るさが調光下限のときに、「暗く」ボタンを押すとブザーは鳴りません。

※シーン1、シーン2、保安灯時に、1度明るさを設定すると、次に設定するまでマイコンが設定を記憶しています。

※「全灯」ボタンで点灯時に明るさを設定しても、明るさは記憶されません。

3. オフタイマーボタン

- リモコン送信器を照明器具へ向け、「オフタイマー」ボタンを押してください。
「オフタイマー30分」ボタンを一度押すと“ピピ”と2回ブザーが鳴り、点灯状態を約30分間継続した後、消灯状態になります。
「オフタイマー60分」ボタンを一度押すと、“ピピピ”と3回ブザーが鳴り、点灯状態を約60分間継続した後、消灯状態になります。

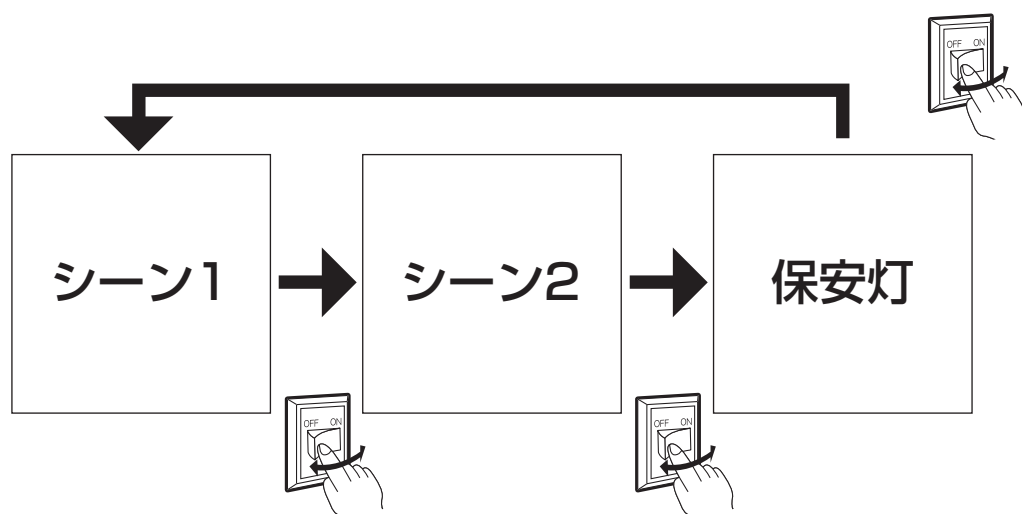
〈注意〉

- ・ 30分及び60分タイマー動作中に新たに「オフタイマー」ボタン以外のボタンを押すと、オフタイマーがキャンセルされます。
この際、ブザーが“ピー”と1回鳴ります。
- ・ 30分及び60分タイマー動作中に新たに「オフタイマー」ボタンを押すと、オフタイマーが更新されます。
この際、ブザーが「オフタイマー30分」ボタンを押すと“ピピ”、「オフタイマー60分」ボタンを押すと“ピピピ”と鳴ります。

4. 壁スイッチで操作する場合

●壁スイッチがONになっている場合

- ・すばやく（約2秒以内）OFF→ONさせると点灯状態が切り替えられ、“ピ”と1回ブザーが鳴ります。



※設定された明るさで点灯します。

- ・壁スイッチで3秒以上消灯し、その後壁スイッチで点灯するとシーン1の状態で点灯します。
- ・壁スイッチをOFFにすると消灯します。

●長時間使わないときには壁スイッチをOFFにしてください。（節電のため）

壁スイッチをONでリモコンで消灯するとリモコン待機の電力を消費します。

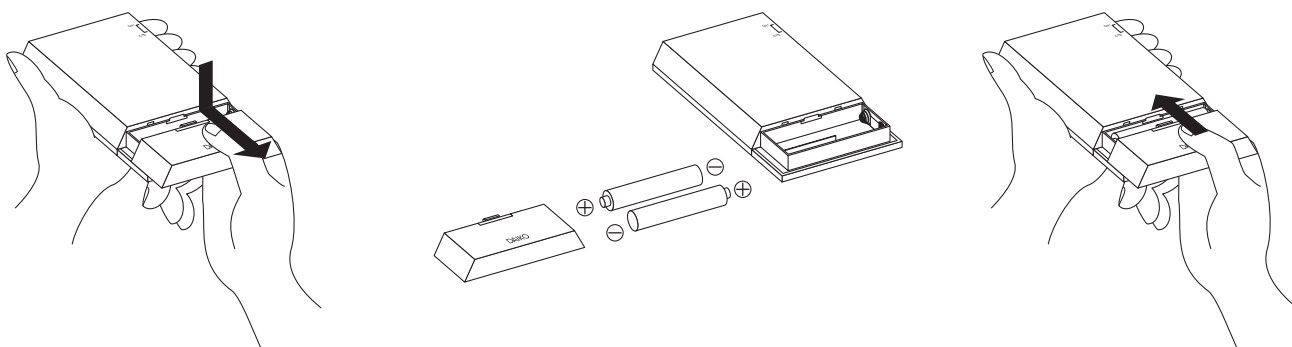
※非常に短い停電が起こると点灯状態が切り替わることがあります。

電池交換方法

1. 裏面のフタを手前に引き上げてはまず。

2. 電池(単四2個)を正しく図のように入れる。

3. カチッと音がするまでフタを押し込む。



●同梱の電池は、照明器具本体を取付けた際の動作確認用電池です。

●リモコン操作できる距離が短くなってきたら、新しい電池に交換してください。

●電池の誤った使い方をしますと「液もれ」や「破裂」する危険がありますので次のことにご注意ください。

- (1)電池のプラス+とマイナス-の向きを正しく入れてください。
- (2)新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- (3)電池には、同じ形状でも、特性の異なるものがありますので、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- (4)電池を加熱、分解、ショートしたり、火の中に投入しないでください。
- (5)長時間で使用にならないときは、電池の「液もれ」が原因で故障になる場合がありますので、電池を取りだしておいてください。

■ 故障かなと思ったら

- 故障とお考えの前に、下記の項目をチェックしてみてください。

現 象	考えられる原因	処 置 方 法
照明器具が暗い。	調光が暗く設定されている。	照明器具が点灯しているときは、明るいボタンを押して、調光を明るく設定してください。
リモコンを操作しても点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。
	器具選択スイッチが照明器具のチャンネルと異なっている。	器具選択スイッチを照明器具のチャンネルに合わせる。

■ 使用上の注意

- ・ 他の器具を併用する場合は、器具間を1.5m以上離してご使用ください。照明器具本体の受信部に強い光が入りますとリモコン操作ができない場合があります。
- ・ リモコンは、照明器具本体から3m以内の所からご使用ください。方向や、壁紙、カーテンにより感度が多少異なる場合があります。特に、窓ガラスのある部屋でご使用になる場合は、受信部が壁側を向くように取付けてください。
- ・ 壁スイッチが、OFFの状態では、リモコンにより照明器具を点灯することができません。必ず壁スイッチをONの状態でご使用ください。
- ・ リモコンにより照明器具を消灯状態にした場合、停電したのち、照明器具が点灯することがあります。故障ではありません。
- ・ 停電したのち、照明器具が停電前の点灯状態と、異なる点灯状態となる場合があります。故障ではありません。
- ・ リモコンを落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- ・ リモコンに重いものをのせたり、踏んだりしないでください。故障の原因となります。
- ・ リモコン内部や接点に、水など液体が、こぼれないように注意してください。故障の原因となります。
- ・ 直射日光の当たるところや、暖房器のそばなど温度の上がるところや、湿度の高いところにはおかないでください。故障の原因となります。
- ・ ライトコントローラー（調光器）との併用はできません。
- ・ 器具と送信器の間に遮へい物がありますと、リモコンが動作しない場合がありますので、その際には遮へい物を避けて操作してください。
- ・ 送信部・受信部が汚れますと、動作しにくくなりますので、柔らかい布で拭いてください。
- ・ 器具の近くでインバータ器具を併用する場合、誤動作することがありますので、ご注意ください。
- ・ 本取扱説明書の他に、取扱説明書が同梱されている場合は、そちらも必ずお読みください。
- ・ 長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。（リモコン送信器や補助スイッチで消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1.0Wの電力を消費します。）